

グルッポふじとう児童館

I 施設概要

1 施設状況

グループふじとう児童館は旧藤山台東小学校をリノベーションし、図書館、コミュニティカフェ、地域包括センター、こどもとまちのサポートセンターなどを併設した多世代交流拠点施設、「高蔵寺まなびと交流センター」の中にあり、子育て中の保護者が気軽に喜びや悩みを話し合い、育児不安を和らげたり、仲間づくりの為の出会いの場を提供している。

また、小学生、中学生、高校生が集まったり、安心して過ごせる居場所も提供している。

屋外には、遊具広場、芝生広場が設備されており、施設の内外をとわず過ごすことができる。

施 設 名	グループふじとう児童館
住 所	春日井市藤山台1-1
事業経緯	着工 平成 29年 7月 5日
	竣工 平成 30年 2月 15日
	開館 平成 30年 4月 1日
開 館 時 間	午前9時00分～午後6時 自由来館は午前9時から午後6時 乳幼児の部屋は午前9時から正午、午後1時から午後3時 小学生の部屋は午前9時から正午、午後1時から午後5時 中高生の部屋は午前9時から正午、午後1時から午後6時
休 館 日	・月曜日 (月曜日が祝休日の場合は、その直後の祝休日でない日) 12月29日～1月3日
駐 車 場	あり

赤ちゃんの部屋、幼児の部屋、遊びと創造の部屋、遊びと活動の部屋、児童館事務室、体育館

Ⅱ 事業概要

1 子育て支援拠点事業

- (1) 目的：子育て支援の拠点として子育ての孤立化、不安感・負担感を和らげる場として子育て親子の交流促進を図りながら、総合的な子育て支援を行っていく。
- (2) 内容
 - ア 自由来館
 - イ 育児相談
 - ウ 親子教室
 - エ 子育て講座
 - オ リフレッシュ講座
 - カ ふたごの会の継続的な実施
 - キ 子育てサークル支援
 - ク 情報誌の発行

2 児童館事業

- (1) 目的：児童が安心して遊べる場所を提供することにより子どもの自主性、社会性が身につくように支援する
中高生の「居場所」となるような空間を提供することによりとなるように図る
- (2) 内容
 - ア こども講座
 - イ 中高生企画
 - ウ ボランティア
 - エ 季節の行事
 - オ 工作教室
 - カ 遊びのひろば
 - キ 児童館祭り
 - ク 体育館利用

3 地域との連携

- (1) 目的：地域の児童館としての専門性を活かし、その役割と今後の可能性を考えていく
- (2) 内容
 - ア 情報誌、小学生向け「バンビだより」中高生向け「リベロ通信」発行
 - イ 近隣小学校からの見学、近隣中学校からの体験学習の受け入れ
 - ウ 近隣大学からの学生ボランティアの受け入れ
 - エ レディヤンかすがいで「親子広場」開催における準備、実施の協力
 - オ 子育て支援ボランティア育成講座
 - カ 地域の保育園での出前講座

Ⅲ 令和5年度年間事業計画

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子育て支援拠点事業	◆自由来所 火～日曜日											
	◆育児相談（電話・面接・リモート相談）火～日曜日											
	◆親子教室 年34回 火曜日											
	◆グルッポミニ 年51回 木曜日											
	◆絵本の会 年51回 金曜日											
	◆子育て講座（グルッポBaby、ベビーマッサージ、はじめてのEnglish、歯のおはなし、赤ちゃんのための防災、初めての離乳食）											
	◆母親のリフレッシュ講座（親子でヨガ、ママとヨガ、骨盤ベルト体操、バランスボール）											
	◆季節の行事（七夕、ハロウィンイベント、クリスマス、お正月の伝承遊び、節分、ひなまつり等）											
児童館事業	◆自由来所 火～日曜日											
	◆体育館解放 火～金曜日（16：00～18：00）											
	◆小学生遊びの広場 毎週日曜日 第2土曜日・夏休み 火・木・土（13:00～15:00）											
	◆季節の行事（七夕、ハロウィンイベント、クリスマス、お正月の伝承遊び等）											
	◆小学生英語 年1回											
	◆子どもスタッフ会議 年10回											
	◆造形教室なないろクレヨン隊 年6回											
	◆栄養教室エプロン' S 年1回											
	◆芝生で遊ぼう 年1回											
	◆名大記述研究会マジック教室 年1回											
地域との連携	◆情報誌グルッポふじとう児童館だより発行（年4回発行）											
	◆小学生向け情報誌「バンビたより」 中高生向け情報誌「リベロ通信」発行											
	◆近隣小学校からの見学受け入れ、近隣中学校からの体験学習受け入れ											
	◆近隣大学からのボランティアの受け入れ											
	◆情報提供											
	◆春日井市子育て支援連絡会議への参加											
その他	◆ボランティアとの連携											
	◆各関係機関との連携											

Ⅳ 事業別実施状況

1 年間利用者数

月	開館 日数	乳幼児	小学生	中学生	高校生	大人	視察 実習 業者等	合計
4	26	1,712	746	208	35	1,539	12	4,252
5	26	2,485	808	164	46	2,676	40	6,219
6	26	2,129	726	224	69	2,003	49	5,200
7	26	2,786	1,095	318	55	2,660	43	6,957
8	27	2,327	943	311	47	2,191	47	5,866
9	26	2,121	653	236	53	1,963	49	5,075
10	26	2,175	910	176	95	2,078	40	5,474
11	26	2,532	574	175	72	2,826	88	6,267
12	24	1,960	465	148	34	1,826	58	4,491
1	24	2,120	393	118	22	2,005	26	4,684
2	25	2,442	559	170	76	2,291	26	5,564
3								0
合計	282	24,789	7,872	2,248	604	24,058	478	60,049

V 令和5年度の特徴

入館する前の手洗いは引き続き実施してもらう。

InstagramなどのSNSの影響と口コミによる評判が上がり、来館者が増え、年度末になっても新規登録者が増え続けた。

I 子育て支援拠点事業

1 環境整備

換気は常に行い、密を避けるために、おもちゃの数や種類を多く用意
おもちゃや床など、消毒を毎日実施し、安心して遊んでもらうように配慮
午前中に乳幼児の来館が多い時には、小学生の部屋も提供
講座については人数に応じて3Fの大会議室を使用
毎日の体操、グルッポミニ、絵本の会は、密を避けるために戸外で実施
日常的に各部屋に1人ずつ職員を配置し、子育てママやパパが、いつでも気軽に話ができるよう設定

2 パパ講座

年1回だったパパ講座を年3回実施。年齢ごとに開催することで、パパ同士の交流の機会を設けた。
そのことにより父親が気軽に来館できるようになり、土日には父親が子どもを連れて遊びに来る姿が多くみられるようになった。

3 ボランティア活動

イベント・講座などでは、大学生、高校生のボランティアの協力が得られた。

II 児童館事業

1 環境整備

土・日、長期休みなど、来館者が多い日は、複合施設の利点を活かし3階大会議室を使用

2 企画

第2土曜日の小学生「特別工作」と毎週日曜日の「遊びの広場」、中高生の「日曜ハンドトクラフト」が定着し、それを目的に来館する児童が増えた。
また、体育館には専任の職員を配置し、体育館での活動を充実させることにより、小学校高学年、中高生の利用が多くなっている。
配慮が必要な児童に関しては、職員が日頃の様子をみて、声をかけたり、職員間で情報の共有をしている。

3 ボランティア活動

至学館大学「芝生で遊ぼう」、中部大学「栄養講座」（エブロン's）、小田原短期大学の造形活動講座「なないろクレヨン隊」は、子どもたちに周知され、毎年のように楽しみに参加する子どもも増えてきている。

また地域連携室の中部大学の学生も、児童館まつり等のイベントに参加し、子どもたちと交流している。
児童館まつりやその他イベントの際のボランティアも、けん玉・バルーン・腹話術など、様々なボランティアが定着して協力が得られている。

III 地域との連携

1 春日井市男女共同参画課から依頼を受け、「親子広場」開催における準備、実施の協力

2 近隣の保育園への出前講座の実施

3 子育て支援ボランティア向けの講座の開催